

仙台市議会議員 岡部 恒司

仙台市議会活動レポート

令和3年第1回定例会報告

■発行人 岡部恒司
 ■ご意見ご要望は：〒981-1093 仙台市青葉区柏木2-4-16-501
 電話 022-271-1770 <http://okabekeji-senai.jimusho.jp>

写真：大崎八幡宮

令和3年第1回定例会（2月8日～3月12日）の報告を致します。

今定例会では、令和3年度一般会計当初予算案など、議案65件、意見書1件を審議・可決致しました。一般会計当初予算は、5764億2400万円（昨年比106.5%）。

また、議員報酬と市長、市幹部の給与を削減する条例改正案を追加提出いたしました。

今回のレポートは、2月19日に登壇した際の「岡部恒司一般質問」の主な質問と答弁、「会派自由民主党」の代表質疑と答弁の要点、令和3年度一般会計当初予算などを記載させていただきました。

是非一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。

岡部恒司一般質問

市長の市政運営について

- 質問** ①市長にとって与党、野党とはどういったものか。
- ②与党が過半数を超えないこの形をどう思うか。
- ③与党4割、野党6割、この比率は今も変わり

ないと思うか。

④郡カラーを出しづらいつらいつらとこの3年半で感じた事はなかったか。

⑤市長選まで残り6ヶ月弱、このままで行くつもりか。知名度人気も抜群、職員の評判も良い、たつたひとつのマイナス面は議会で過半数を得ることができないことではないか。

⑥ある一つの決断をして郡与党を作ろうとは思わないのか。

⑦165452人の市民の「お母さん」ではなく、109万市民の「お



母さん」になるために、まずは議会対策をしつかりと行うべきではないか、如何か。

答え 私としては、市民の皆様から信頼をされ、与党・野党という区分けではなく、すべての議員の皆様にご理解をいただけるよう市政運営を図ること、そのことが109万市民の皆様方の幸福につながることを胸に刻みながら歩んできた。今後とも市民の皆様のため議会の皆様方と共に力を尽くしていきたい。

宿泊事業者支援等について

質問 昨年12月期の宿泊数は秋保温泉でこそ昨年同月日で86.8%とそこそこの数値となっているが、本市全体では6割を割り込み、作並地区に至っては約54%と半減している。キャンペーンのなくなった1月、2月は休業せざるを得ない状況となっている施設も多



格段に深刻さを増している。こうした状況をきちんと把握しているのか、またそうした事態をどう認識しているのか。

答え 緊急事態宣言が発令された1月以降、さらには厳しい状況に置かれていると認識しており、強い危機感を持っている。

質問 作並温泉の存在は、歴代藩主が湯につかって体を癒し文人墨客が滞在した歴史と記憶を今に伝える仙台の個性ある伝統的文化そのものだ。市長はそんな作並温泉を本市の都市資産、文化資産としてどう捉えているのか。

答え 作並温泉は古くから関山街道を行き交う

人々が訪れる歴史ある温泉地で、新たな魅力づくりが進められ、歴史的文化的資産に加え、様々な魅力に恵まれた貴重な観光資源であり、交流人口による活性化を目指す本市にとって、は欠かすことのできない重要な要素であると認識している。

質問 作並温泉も秋保温泉も、一度失ったら再生することが極めて困難な本市の貴重な都市資産であり決して失くしてはいけない。

今年度のコロナ禍の数年後、コロナに罹患した死者より、経営破綻・失業による犠牲者の方が多かった、といった事態は起こしてはいけない。万全のコロナ対策を打ちつつ、市民のなりわいを守り、経済的困窮による二次的被害の発生を防止するため、迅速に決断し行動することが、首長としてなすべきことである。過剰な制約は直ちに

解除し市民・県民、状況に応じて東北管内の客を対象としたキャンペーンをすぐに再開すべきだ如何か。

西部地区の学校跡施設の利活用について

質問 昨年3月末で閉校した作並小学校、新川分校、大倉小学校の利活用について伺う。

閉校した学校の後施設についても地域の将来に夢を持てるような施策を講じていくことが必要だ。学校が地域で担ってきた様々な役割が維持され、さらには地域の振興や活性化につながるような利活用を図るべきだと考える。閉校した3校の後施設の利活用について基本的にどんな考え方に

基づき検討を行うのか伺う。



答え 地域の関係者や保護者等で構成する学校後施設利活用検討委員会を設置し地域が求める機能等についてご意見を伺い、関係部局とも連携しながら検討することとしている。

質問 作並、新川、大倉地区の活性化につながるような学校後施設の利活用を行うためには、学校を所管する教育局だけの取り組みにとどまらず、他部局との連携も重要となってくるが、現在どう検討が進められているのか。

城総合支所とも連携しながら活性化に資する学校後施設の有効活用についてさらに検討を進めていきたい。

環境基本計画について

質問 計画において目指すべき環境都市像として「杜の恵みを生かした持続可能なまち」とある。「杜の都」とは仙台の代名詞ともなる言葉であり、杜という言葉の大切さも感じるところだが、こうした中で「杜の恵み」とは一体何を指すのか。

答え 本市には豊かな自然と調和した魅力的な都市空間や市民共同で環境課題に取り組んできた強みがある。こうした強みを「杜の恵み」という言葉に込めるとともに、快適で豊かな暮らしが営まれながら、環境負荷が小さい、持続的な発展が可能な社会を目指し、環境都市像を「杜の恵みを生かした、持続可能なまち」とした。

質問 防災・環境都市を標榜する本市において、その都市像は市民一人ひとりが共有すべきものだが、なぜこんな都市像になったのか。

また、「持続可能なまちづくり」はその都市の実情に応じて、その道筋や将来像は異なるが、本市は「持続可能なまち」に向けてどんな課題があり、どう取り組まれていくのか伺う。

答え 環境への取り組みを推進することにより、経済の活性化や快適な市民生活の確保につなげていくことで環境分野に「新たな価値を生み出し」まちの持続的な発展へとつなげることを目指していく。豊かな自然環境と都市機能が調和した本市の魅力をもっと高め、さらなる発展が図られるよう取り組んでいきたい。

自由民主党代表質疑抜粋

■ 施政方針について

質問 新型コロナウイルスによつて、多くの市民、産業が打撃を受けた。市民、事業者の方々の苦悩は察するに余りある。この感染症による国難をプラスに変えるには、社会ニーズを需要に大きく変えていくしかない。市長は、市政方針で「社会変化を力に変えるまちづくり」を挙げているが、令和3年度に取り組む施策や予算案にどのような思いを込め、市民を守っていくつもりか。



■ 新型コロナウイルス

答え 新型コロナウイルスは、市民の皆様の命や健康、地域経済にも深刻な影響を与えており、新年度は、ワクチン接種の円滑な実施等のコロナ対応を最優先と位置づけ、皆様と乗り越えていきたい。

新年度は、杜の都の風土が息づく都心づくりや、多彩な経済・交流活動の創出など、まさに都市間競争に打ち勝つための未来に向けた投資を行う時期にある。新年度は様々な計画がスタートする年になり、仙台の強みが存分に発揮され、持続的な活力創出につなげていけるよう、第一歩を踏み出していきたい。

■ 新型コロナウイルス感染症対策について

質問 国分町2丁目と一番町4丁目の飲食店に対し時短営業の要請を行い、その後市内全域に要請拡大した。時短

要請は終了となったが、この取り組みをどう総括しているのか。この間の延長や終了の判断など、県との協議状況も含め伺う。

答え 12月中旬、県から打診があり、医療崩壊を招かないためにも必要な措置であると判断した。今年に入り飲食店でのクラスターの事例は見られず、2月からは一日の新規感染者が一桁になるなど、皆様お一人おひとりの意識や感染防止対策も相まって、効果が現れている。

今後、時短要請の効果を持続させるためにも、基本的な感染予防対策の徹底を呼びかけていくとともに、協力の速やかな支給、また関連事業者への支援にも務め、地域経済の回復に力を入れていく。

質問 再び感染者数が増加に転じないとは限らない。先々を見据えた判断とは思いますが、再度

の時短要請は無いのか、如何か。

答え 今回の要請では6割以上の飲食店にご協力を頂けたが、1店舗あたりの協力金が一律であったことなどにより、規模の大きい店舗等は協力することが難しいとの声をいただいた。時短要請は感染拡大を抑える効果はあるものの、地域経済への影響も大きかった。

再び時短要請を行う場合は、今回の課題も踏まえ多くの事業者に協力していただけるよう、国、県ともに連携し取り組んでいく。

■ ワクチン接種について

質問 国は、医療従事者向けの接種を開始し、4月から高齢者向けの接種を行う。約26万人の高齢者を抱える本市においても接種開始は目の前に迫っているが、いつからどこで行うのか、手続きや申し込み方法、子供や妊産婦の方、ま



た副反応のリスクは無いのか、などの不安があることも事実だ。本市のワクチン接種の準備状況や市民周知について伺う。

答え 3月半ばには高齢者向け接種券の発送準備を整え、コールセンターを立ち上げお問い合わせにお応えできるよう整えていきたい。加え、接種の進捗を管理するシステム開発など、急を要するものは予備費を活用しながら、引き続き円滑な接種に向け準備を進めていく。

質問 合わせて施設入居の高齢者や、施設職員の方への接種については、どう取り組みようとしているのか。

答え 施設の嘱託医などによる施設内での接種、在宅で療養されている方への訪問診療による接種など、接種会場に行くことが困難である方への対応については個別の対応を検討する必要がある。今後、仙台市医師会や施設関係者等と丁寧な協議を重ね、早急に対応していきたい。

質問 供給が見込まれるファイザー製のワクチンは、3週間以上の期間をあけて2回の接種が必要だ。109万人を抱える本市はその接種回数も膨大となり、会場や医療従事者の確保など円滑な実施に向けて課題がさまざまだ。今後の鍵を握る医療人材の確保に向けてどう取り組むのか。

答え 65歳以上の高齢者に対する接種に関して、本市ではピーク時で1日あたり最大8000人に及ぶ接種体制が必要となる。状況を

踏まえれば、診療所の個別接種と集団接種を合わせた体制が望ましい。400カ所の診療所から協力をいただければ、個別接種の見込みで、個人と集団接種の組み合わせの体制を考えており、円滑な接種が図られるよう努めていく。

経済対策について

質問 仙台市地域経済動向調査では、12月以前より状況が悪化している事業所が4割近くに上るなど極めて厳しい。こうした中、経済対策第6弾が発表され、宮城県の市町村補助金を活用し「時短要請と関連事業者支援金」の上乗せや、「割増商品券の発行支援事業」の拡大等について提案があった。今般の経済対策第6弾を打ち出された経緯と、施策の狙い、期待される効果について伺う。

答え 感染症の拡大を受け、12月にはGoTo



キャンペーンの停止や、営業時間短縮が行われ、飲食店にとどまらず、取引事業者など多方面に深刻な影響が出ている。こうした状況を受け、売り上げが大きく減少した事業者と関連事業者支援金の拡充、割増商品券の対象地域の拡大についても追加提案を行った。

感染状況が落ち着いた段階では、割増商品券の発行や交流人口拡大に向けたキャンペーンの実施など、需要喚起に向けた施策を押し進め、地域経済の再生を図っていききたい。

質問 アフターコロナを見据えた視点も必要だ。地域産業を牽引する成長可能な高い中小企業を生み出していく取り組みにも期待する。地域経済を再生し、さらに発展を目指していくための今後の経済施策の方向性について伺う。

答え 本市経済の持続的な発展のためには、地域企業の事業継続を支援していくこと、経済環境の変化を的確に捉え、事業の再構築や、イノベーションを促進していくことが不可欠だ。

今後、事業の継続の下支えや、需要喚起策に全力で取り組むとともに、前向きな投資や地域産業のデジタル化などの取り組みへの支援を通じ、意欲のある成長可能な高い企業の後押しをしていく。

質問 地域経済を回復軌道に乗せていくためには、交流人口の回復も欠かせない。感染症が収束すれば地域交流人

口獲得に向けて競争が激化する事は必至で、観光再生への明るい道筋をしっかりと示す施策と、仙台ならではの観光戦略を求める。

答え 新年度は、引き続き宿泊促進キャンペーンを実施するほか、旅行者の興味・関心に応じたきめ細かいプロモーションを実施することにより観光・宿泊事業の早期回復を図っていく。

救急体制について

質問 高齢化のさらなる進展等に伴い、15年後の救急出場件数は過去最高だった令和元年を1万件以上も超え、約6万5千件に達する見込みで、特に青葉区北部地区の住宅地の対策が急務となっている。令和4年度当初に「デイトائم救助隊」を目指すとのお事だが、どこに配置する予定で、その効果は如何か。

答え 救急需要が高い市内中心地域をカバーで



きることや、施設面などを総合的に判断して青葉消防署への配置を予定している。需要が多い日中の時間帯の救急体制強化と合わせ、市内中心地域の救急車の現場到着時間の短縮による救命効果の向上を見込んでいる。

質問 小松島出張所はいつ頃改修され救助隊を配備する予定か。

答え 出張所としての機能を止めることなく工事をを行う必要がある。今後具体的な配置場所や工程等について検証を行い、建物の耐用年数も踏まえ、9年度頃に整備できるよう取り組んでいく。

震災10年の復興の総括について

質問 震災から10年の節目まであと一カ月を切った。大きな節目に市政を担う立場にあるのは郡市長だ。被災者の中には未だ苦しんでいる方もいる。この点も含め復興の総括と課題への対応について伺う。

答え あの震災から10年、この間本市は市民や事業者の皆様とともに一つひとつ壁を乗り越え、未曾有の震災からの復旧・復興の道のりを歩んできた。被災者の中には様々な課題や悩みを抱えている方がおり、今後とも寄り添い、心のケアや地域コミュニティへの支援といった心の復興に取り組んでいきたい。

質問 震災の記憶の風化が指摘され始めているにもかかわらず、記憶の継承という重要な役割を担う、中心部震災メモリアルは一向に進んでいない。震災の記憶

を残し続けるためにも必要な施設だ。コロナ禍であることを考慮してもなぜ検討が進んでいないのか、今後の方向性や時期について明確に伺う。

答え 東日本大震災の脅威を伝えることにとどまらず、災害は発生するものと認識した上で、それを乗り越える術を持つた、本市ならではの「災害文化」の創造と発信を拠点の理念としている。今後、整備スケジュール、立地のあり方を含め、基本構想を早期にお示しできるよう検討していく。

まちづくりについて

質問 方向性がなかなか定まらないのが音楽ホールだ。社会経済情勢などを見極めながら検討を進める、との事だが、明らかに後退した。市長の真意を伺う。仮に県民会館跡地に整備するとなれば、市



長と知事の連携によるホール問題の解決という大きな実績にもなる。コロナ禍や財源等の問題はありますが、定禅寺通りの活性化からも候補地の一つとしてきちんと検討すべきと思うが如何か。

答え 音楽ホールの立地場所絞り込みは熟慮を重ねている。県民会館跡地への整備には面積の課題があるが、この点も含め、目指す音楽ホールのあり方、また勾当台・定禅寺通りエリアの活性化策、その両面を見極めるとともに新型コロナウイルス感

染症の動向や、厳しい経済状況なども踏まえながら建設地決定、基本構想の着手について判断していく。

質問 地元企業が所有する中小のビルについては建て替えのハードルは大きいとの声も聞こえてくる。老朽化したビルの建て替えに向けた後押しとなる施策が必要だ。今後の取り組みを伺う。

答え 商工会議所とも連携し、建物の建て替えのみならず、テナントの退去や新規誘致など、地元の中小ビルオーナーが必要としている総合的な相談を受ける体制作りを行い、ビル建て替えと企業立地の双方の実効性を高めていく。

質問 青葉山公園について、令和4年度のオープンに向け(仮称)公園センターの建築工事が進められている。青葉山周辺エリアのまち



質問 青葉山全体の象徴といえる仙台城跡の保

づくりを踏まえ、公園センターの展示や運営計画なども、今後の魅力づくりについて伺う。
答え 青葉山周辺エリアは仙台城跡をはじめとする藩祖伊達政宗公ゆかりの歴史や文化、青葉山や広瀬川の豊かな自然、博物館や東北大学などの本市の魅力を代表する多くの施設が集積する重要なエリアである。周辺地域との連携や民間事業者等のノウハウを生かした公園運営により、周遊性を高め魅力や価値のさらなる向上につながるよう進めている。

存、活用、整備について、具体的な調査や整備が始まることは、コロナ禍の中にあつて仙台のまちづくりに向けた明るい話題であり市民の期待も大きい。大手門復元になぜ10年もの期間がかかるのか、短くする工夫はできないものか。
答え 復元の根拠となる建築図面や古写真が残されているが、多くは明治時代の改修後のものである。復元は大手門が仙台城の門として機能をしていた江戸時代を想定しており、承認を得るには大手門の歴史の変遷を含めた十分な学術的調査が必要となる。江戸時代の建造物を参考した時代考証も行い、復元整備内容をもとめることとなる。



子育て支援について

質問 「支援対象児童等見守り強化事業」は、支援ニーズの高い子供の家庭を訪問し、食品提供とともに学習支援や生活相談などを実施すると聞く。この見守り強化事業に至った背景と、対象とする子供の把握方法や人数の想定、エリアについて伺う。
答え 子供たちの見守りがより一層難しくなる夏休みなどの長期休業中において、虐待リスクなど様々な課題を抱えて、継続的な支援が必要と把握している小学生のいる家庭を中心に、概1度程度訪問し、食品の提供と生活相談等を行う。



質問 高齢者施策について 感染者による介護事業者の影響が心配さ

れる。医療と同様に、高齢者の日常生活を支える介護サービスの提供が滞る事はあつてはならず、感染症の影響が経営への打撃となり、サービスを休止・廃止する事業者が相次ぐような事態は避けなくてはならない。サービス継続に向けた支援について伺う。
答え 令和3年度からの介護報酬改定は新型コロナウイルスの特例的な改定率の上乗せや、通所型サービスでの利用者が一定程度減少した場合の加算措置の新設も予定している。サービスの動向の把握に努め、必要な検討を行っていく。

教育施策の推進について

答え これまでも仙台市生涯現役促進協議会を通じ、相談窓口の設置や事業所訪問による雇用先の開拓などに取り組みしてきた。多くの業種から高齢者雇用の機会が生み出されるよう取り組んでいく。

質問 産業界と連携し、高齢者雇用に関心を持つ企業を増やし、様々な経験を積んだ高齢者の能力が生かされるよう、より多くを対象とした就業機会を開拓することが欠かせない。取り組みについて伺う。

質問 いじめ対策は学校だけではなく保護者や地域の力も結集しなければならぬが、一方で学校が主体的に取り組まなければならないものがあり、学校の教職員一人ひとりの意識が重要だ。いじめ対策の総括と現場の教職員の意識の向上を図るための取り組み、そして今後どう進めていく考えなのか市長に伺う。

答え いじめ問題への対応を市政の重要課題と位置付け、いじめ防止条例の制定、相談支援を行うS-I-K-E-Tの開設など、いじめ対策に取り組んできた。



引き続き児童支援教諭の拡充、児童生徒が相談できる人員の拡充など、対策の充実を図り、市全体でいじめ防止に取り組んでいく。

質問 本市の不登校児童は増加傾向にあり、昨年度は約1900人と、この4年間で400人増加している。不登校児が増加している本市の現状認識と、子供たちが適切に学ぶ機会を得られるために取り組むべき具体的な方策について伺う。

答え 今年度からは、きめ細かな対応を行うため、別室に専任教諭を

配置する「ステーション」の取り組みを開始した。今後も「ステーション」設置校の拡充や、不登校に関わる相談機能の強化など、児童生徒ひとり一人が自律的に生きる基礎を養うための取り組みを進めていきたい。

財政運営及び市役所経営について

質問 感染症の影響を受けた令和3年度当初予算案は、前年度比118億円の大幅な減少となり、リーマンショックや東日本大震災に匹敵する規模となっている。この難局からいち早く転じ、まちの活力づくりに必要な投資を確保しながら、しっかりとした財政基盤を確立していくことが重要だ。今後の展望をどう持ち、何が必要なのか。

答え 感染症の影響による市税収入の減少や、財政需要の増加に加え、社会保障関係費の増大等による令和4年度か

らの3年間で、1000億円を超える収支差が見込まれ、本市の財政運営は予断を許さない。このため地元企業の事業継続や販路拡大といった地域経済の再生に向けた後押しや、街の活力創出など税源の涵養につながる施策が重要となっていく。

質問 歳入の確保はもちろんだが、歳出を削減する事務事業の見直しに力を入れるべきでは

ないか。限られた人員・財源を効果的・効率的に配分していくという観点からも、もっと大胆にスピード感を持って見直しを行うべきだ。当局の課題、危機に関する認識と、現行プランにおいても早急に見直しを追加し実施していくべきではないか。

引続き整備費用の精査とともに議会や市民の皆様のご意見も伺いながら、防災環境都市にふさわしい庁舎の実現を目指していく。

となつて歳出削減を徹底していく。市民の安全・安心を確保する司令塔としての機能を果たすためには、強固な庁舎であること、また将来を見据えた持続可能な社会を目指す上では、環境負荷の低減を図る事は大変重要である。

ご意見お待ちしております!

みなさんの声で住みやすい仙台を!

市政に関するご意見・地域のお困り事がございましたら、お気軽にお知らせください。

●仙台市政に対してのご意見を一言お願いいたします。

キリトリ

仙台市議会議員 **岡部恒司**

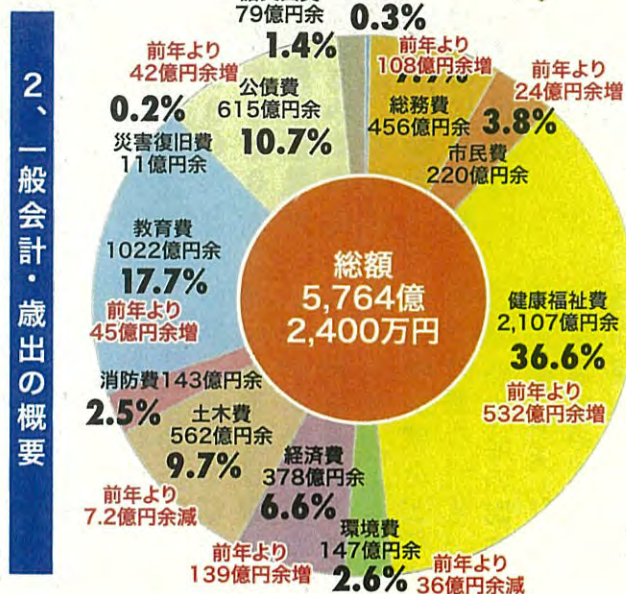
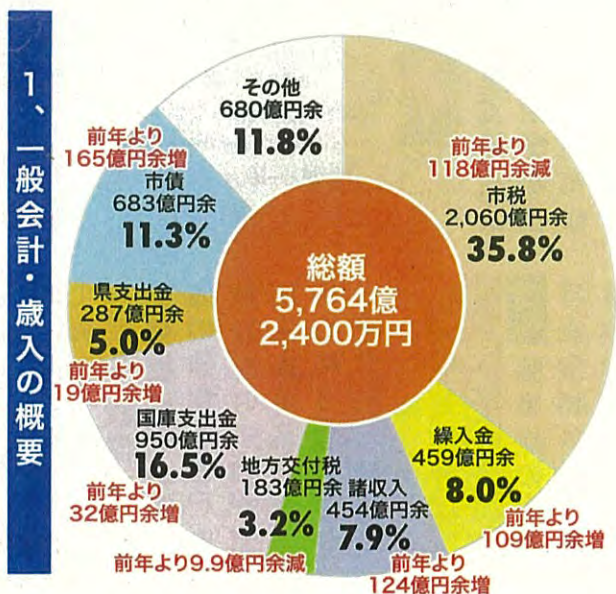
お電話でご協力をいただければ幸いです。

連絡先 TEL 022(271)1770

朝8時より夜6時までの時間帯でお願いいたします。

FAX 022(271)1786

令和3年度一般会計歳入・歳出当初予算



新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ

新型コロナウイルスワクチン接種を希望される市民に円滑に接種いただけるよう準備を進めています。

- 接種対象 / 16歳以上の方 接種日に仙台市に住民登録のある方が対象
- 65歳以上の高齢者の方 (昭和32年4月1日以前に生まれた方)、高齢者施設の従事者、基礎疾患がある方などを順次優先し、すべての対象者への接種を実施
- 接種会場 / 医療機関での「個別接種」と、市が臨時に開設する接種会場での「集団接種」を予定 また、高齢者施設等での接種も検討

専用コールセンター

☎0570-05-5670

ワクチンに関するお問い合わせは (8:30~17:00)

郵便はがき

9818790

投函される場合は
恐れ入りますが、
63円切手を貼付
してご投函お願い
します。

仙台市青葉区
柏木2丁目4-16-501

仙台市議会議員 **岡部 恒司** 行

※是非ご記入ください。

お名前	様
ご住所	

皆さんの声をお聞かせください!

みなさんの声で 住みやすい仙台を!

市政に関するご意見・地域のお困り事が
ございましたらお気軽にお知らせください。

左記のハガキにてご投函ください。
または、お電話・FAXでも承ります。

仙台市議会議員 **岡部恒司**

〒981-0933 仙台市青葉区柏木 2-4-16-501
TEL022-271-1770 FAX022-271-1786

岡部 恒司ホームページ
<http://okabekoji-sendai.jimusho.jp>

岡部 恒司

検索

